

水稻を基幹とした持続可能な複合経営の確立

～ 基盤の強化で夢もてる農業の実現を！！ ～

深川市納内・東豊地区(14戸)

1 活動の背景

■地域の現状

- 水稻を中心とし畑作、園芸を含めた複合経営を展開
- 水稻及び複合品目の安定生産で所得向上を図りたい
- 令和3年より大規模な基盤整備が開始される
- 経営規模の拡大や労働力不足に伴い、省力化技術やスマート農業技術導入への関心が高まっている

■活動の方向性

- 「基本技術の早期定着化」
基本技術を定着化し、基盤整備に備えつつ、安定生産と所得を確保する
- 「担い手の資質向上」
省力化・スマート農業技術の導入を検討し、安定生産と所得を確保する

2 活動の経過

■ 具体的推進事項①「農産物の生産性及び収益性の向上」⇒ 対象者14戸

○本年は、基本技術である「水稻の育苗管理」、「雑草対策」の現状把握と個別調査を進めた。

目標事項：水稻の育苗管理・雑草対策

○育苗管理・雑草対策実施戸数

現状：4戸 ⇒ 目標：8戸

個別巡回・定点ほ調査

水稻育苗のポイント

- 温度・かん水管理
- 育苗日数の適正化
- 適期移植

雑草対策のポイント

- 薬剤選定
- 水管理の適正化
- 発生状況の確認



保温資材を比較してるけど、何か違いは出るかなー？

写真1 育苗巡回で農業者と生育確認

■ 具体的推進事項②「地域を担う農業者のスキルアップ」⇒ 対象者9戸

○対象者9戸が、今後高めたい技術等について自己課題を設定した。

目標事項：研修課題の設定と実践

○研修課題の設定と実践戸数

現状：0戸 ⇒ 目標：5戸

個別巡回
個別相談・講習会

課題設定のポイント

- 自己の経営に役立つもの
- 自己の資質向上を図るもの



省力化栽培に取り組みたいんだけど！

写真2 自己課題設定のグループ協議



課題はうまく進んでいますか～？

写真3 巡回時の進捗等確認

3 成果の具体的内容

水稲の育苗管理・雑草対策（対象14戸）

○育苗管理・雑草対策実施戸数 **目標：8戸 ⇒ 実績：10戸**

到達度：125%

表1 育苗および雑草管理状況と収量（R3年・14戸：ゆめぴりか5戸、ななつぼし9戸）

区分		A氏	B氏	C氏	D氏	E氏	F氏	G氏	H氏	I氏	J氏	K氏	L氏	M氏	N氏
育苗管理	温度・水管理	○	●	●	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	未達
	育苗日数・適期移植	○	●	●	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	未達
雑草管理	適期防除・水管理	○	●	●	△	△~×	○	△~×	×	△	●	○	●	○	未達
		○	●	●	△	△~×	○	△~×	×	△	●	○	●	○	未達

「●」：現況クリア者（4戸） 「○」・「○~△」：R3年度実績達成者（6戸）



写真4 稲の浸漬状況は上々



写真5 苗の生育状況は良好



写真6 除草剤の使用方法等は適正

研修課題の設定・実践（対象9戸）

○研修課題の設定と実践戸数 **目標：5戸 ⇒ 実績：7戸**

到達度：140%

表2 担い手9戸の課題取り組み状況

区分	農業者	課題名	設定	実践
水稲の基本技術	F	ケイ酸質資材の導入	○	○
	L	ななつぼしの新規導入	○	○
水稲の省力化技術	D	密苗栽培の技術向上	○	○
	M	直播栽培の技術向上	○	○
	I	疎植栽培の技術向上	○	○
	H	育苗ハウス置床鎮圧の導入	○	×
スマート農業技術	E	水田の自動水管理	○	○
	J	ドローンセンシング	○	×
経営管理技術	A	経営シミュレーション	○	○

・自己課題は9戸全てが設定した。

- ① 基本技術：2課題
- ② 省力化技術：4課題
- ③ スマート農業技術：2課題
- ④ 経営管理技術：1課題

・7戸が課題設定から実践まで達成できた。



写真7 JAとスマート技術検証活動



水管理が見える化できたのは良かった！

写真8 実践者からの実績報告



互いに問題点を深掘りして取り組もう！

写真9 活動に係る意見聴取

4 今後の対応

■ 水稲の育苗管理・雑草対策

○未達成者の改善点強化を進める。

■ 研修課題の設定・実践

○未実施課題の活動計画を再協議する。

○2年目の課題設定及び取り組みへの支援を進める。

表3 育苗管理・雑草対策未達成者の改善項目と次年度の対策

改善項目	対象戸数	次年度の対策
育苗時の生育ムラ	1	は種前からの巡回強化
ヒエ（漏水田）	3	丁寧な秋耕と代かきの強化
シズイ	1	除草剤の体系処理を徹底
オモダカ	4	